

日本国とアラブ首長国連邦との間の
戦略的パートナーシップの深化及び強化に関する共同声明
－ 繁栄と安定に向けた協力の新たな章の幕開け－
(和文仮訳)

2018年4月29日から30日の安倍晋三日本国総理大臣のアラブ首長国連邦訪問に際し、安倍総理大臣とムハンマド・ビン・ザーイド・アール・ナヒヤーン・アブダビ皇太子兼UAE軍副最高司令官との会談が行われた。

双方は、経済、文化、教育、環境、防衛といった広範な分野における二国間協力の既存の枠組に従い、全ての協力分野における二国間の戦略的関係の更なる発展に向けた真の希望を反映するものとして、この声明を作成した。

双方は、双方が共有する長年の二国間の絆である成功の遺産を礎に、両国が共有する未来に向け、二国間の戦略的パートナーシップを包括的な形で深化させ強化することにコミットした。この文脈において、双方は繁栄と安定に向けた協力を進め、次回の両指導者間の会談に向けて「包括的・戦略的パートナーシップ・イニシアティブ（CSP I）」という枠組に基づく共通のビジョン及び協力戦略の策定に対するコミットメントを確認した。

双方は、CSP Iをフォローする担当として、UAEからは国務大臣、日本からは外務担当国務大臣及び関係省の高官を任命することを確認した。担当大臣の指名は、今後外交ルートを通じて確認される。

双方は、2017年4月24日に署名された政策協議に関する協力覚書によって設立された外務当局間の政策協議の枠組の中で、CSP Iのための二国間協力のマネジメントに関する監督及び協議を行う。共通のビジョン及び協力戦略の発展、並びに、CSP Iのための協力プログラムに関する進捗のレビュー及び必要な当局間の調整は、政策協議による指針に基づき、関係省庁によって行われる。そのようなレビュー又は調整の結果は、今後の検討のために政策協議に報告される。

二国間協力は以下の分野で強化され、協力の詳細はCSP Iの中で更に議論される。

1. 政治協力

双方は、政策協議に関する協力覚書に従って、対話と協議の強化に対するコミットメントを確認し、地域および国際的な課題の相互理解の増進と、二国間関係を促進するための共通基盤の構築を目的に、2018年4月に東京で行われた第一回閣僚級政策協議の前向きな成果を歓迎した。

2. 経済（ビジネス、貿易及び投資）

双方は、両国間の貿易量の増加を歓迎し、再生可能エネルギー、持続可能な海水淡水化、先端ロボット技術、IoT、人工知能、ヘルスケア及び医療の設備、航空宇宙並びに先進車両といった、両国間の貿易、投資及びビジネスを更に促進する重要性を強調した。

双方は、UAEの地域における効果的なハブとしての機能及びアフリカ、中東及び欧州へのゲートウェイとしてのUAEの重要性を認識した。

双方は、非エネルギー分野にビジネスを多様化させるコミットメントを新たにした。

双方は、知的財産権と偽造品対策に関する協力を進める強い決意を共有した。

双方は、UAEの自由特区のインセンティブやドバイに拠点を置く「中小企業海外展開現地支援プラットフォーム」などを活用した両国の中小企業間のビジネス交流を促進する意思を再確認した。

双方は、金融分野の協力を更に発展させる重要性を確認した。この目的のため、双方は、2018年3月に東京で開催された第2回日・UAE財務金融協力セミナーでのフィンテックを含む、様々な金融分野における課題に関する最近の活発な議論を評価した。

双方は、両国間の日本・UAE戦略経済パートナーシップフォーラム開催のイニシアティブを歓迎した。

双方は、日本・アブダビ経済協議会（ADJEC）のメンバーに対し、両国間の貿易と投資を促進するための貢献と成功につき祝意を表した。

双方は、「投資の促進及び保護に関する日本国とアラブ首長国連邦との間の協定」の署名を歓迎した。

3. 文化協力、万博、オリンピック

日本とアラブ首長国連邦は、UAEによる連邦制の設立以前から、長年に亘る関係を有しており、これは、1970年の大阪万博にアブダビ・パビリオンが出展したことに遡る。

その50年後、UAEは2020年にドバイ万博を開催する。双方は、ドバイ万博と東京オリンピック・パラリンピックが開催される2020年という年を共有し、それぞれのイベントで協力することを歓迎する。この東京・ドバイ2020パートナーシップは、万博とオリンピック・パラリンピックの間で行われる初めての協力であり、両国及び人類にとって偉大な価値を創造する。

双方は、両国の社会の間での相互理解を促進することと、両国間の共同文化事業の実施に向けた支援の拡大を通じて様々な分野における文化協力を強化することを目的として、人的交流を一層促進することを改めて誓約した。

双方は、知的交流の促進、文化政策に関する対話の実施、及び遺産保護を含む観光・文化産業における相互協力の強化に対する意思を確認した。

双方は、芸術、建築、音楽及びポップカルチャー分野において文化交流を促進することの重要性を再確認した。

4. 教育、先端科学技術分野における協力

双方は、2016年に署名された、日本国内閣府、日本国文部科学省、日本国経済産業省、及び2020年の火星探査ミッションを所轄するUAE宇宙庁（UAESE）との間の現行の協力覚書、及び宇宙航空研究開発機構（JAXA）とUAE宇宙庁（UAESE）と

の間の合意の下で、両国の連携を一層強化することの重要性を再確認した。

双方は、2018年内に、UAE製として初めとなるリモートセンシングによる地球観測衛星ハリファサットが打ち上げられることを歓迎した。

双方は、先端技術、サイバーセキュリティー、ロボット技術、IoT、ビッグデータ分析、人工知能、バイオ技術、ナノテクノロジー及び宇宙活動の分野での協力強化に関するコミットメントを確認した。

双方は、初等・中等教育、教育カリキュラムの標準化、道徳教育、日本語・アラビア語教育、科学・技術・工学・数学（STEM）教育、長期インターンシップ、職業訓練、産学連携、及び共同研究を含む大学間協力を一層拡大させることに対する期待を表明した。

5. 環境、エネルギー、水分野における協力

双方は、UAEが日本への最も信頼できる主要な石油供給国の一つであることに留意し、特にエネルギー分野における現行の経済的協力を満足の意を表明するとともに、とりわけ、UAEによる日本企業の海上油田権益の更新に関し、安倍総理大臣は深い感謝の意を表明した。双方は、石油ガス開発分野における共同プロジェクトの一層の拡大に向けた決意を再確認した。

双方は、エネルギー、水管理及びその他の環境分野における対話を促進し、また、技術的な知見、スキル及び専門知識の共有の重要性を強調した。

双方は、気候変動対策のため、クリーン・エネルギー、再生可能エネルギー、持続可能な廃棄物管理、及び原子力の平和利用といった分野において協力する意志を確認した。また双方は、国際再生可能エネルギー機関（IRENA）への支援の継続に向けたコミットメントを強調した。

双方は、中下流事業の拡大に向けたUAEの意志、及び上中下流事業への参画に対する日本の関心を確認し、石油ガス産業における共同プロジェクトを通じた両国間の互恵的関係の強化の可能性を再確認した。UAE側は、計画されている中下流事業の拡大が、地域産業の成長、更なる発展及び多様化の触媒となることに留意した。

双方は、日本国経済産業省、石油天然ガス・金属鉱物資源機構（JOGMEC）及びアブダビ国営石油会社（ADNOC）により署名された協力覚書に基づく共同プロジェクト、人材育成及び技術協力の促進に向けた活動を促した。

双方は、国際協力銀行（JBIC）とADNOCとのファイナンス面での協力の深化の重要性を再度強調し、国際石油・ガス協力機関（JCCP）及びADNOCリファイニングによって実施される共同研究を促した。

双方は、水質確保、水利用効率、持続可能な淡水化、水処理及び下水処理を含む水関連の課題に取り組むための共同科学調査及びビジネス協力の促進の重要性を強調した。

6. 防衛協力

双方は、近年の二国間の防衛交流を歓迎し、更なる協力と交流の促進に向けた希望を表

明した。

双方は、両国の防衛当局間の相互理解の深化と、安全保障分野の専門性の高度化を目的として、安全保障対話を継続的に開催することの重要性を認識した。

双方は、共通の関心を有する防衛装備及び技術の分野での協力の拡大することの重要性と、両国防衛当局間での防衛協力及び交流に関する覚書の署名を通じて、防衛協力の更なる促進を目的として枠組を設立することの重要性に留意した。

7. 航空協力

双方は、日本及びUAEの航空当局間の交渉と2018年4月に東京で開催された直近の協議を認識し、今後の交渉が進展し、その結果として両国経済と両国間の絆が一層強化されることへの期待を表明した。

8. 領事案件

双方は、両国民間における良好な関係を歓迎した。

日本は、日本国民のためのUAE入国時のオンライバルビザ制度に感謝し、UAEは、UAE一般旅券所持者のための事前登録制に基づく査証免除を歓迎した。

双方は、両国民の往来の更なる促進のために、事前登録を含む関連手続きの簡素化に向けて、更に努力し協働していく。

9. 安全保障協力

双方は、世界、特にアジア及び中東で、平和、安定及び繁栄を実現するために更に貢献する決意を認識した。

双方は、安全保障分野での関連当局間において交流、訓練、及び情報共有を促進することの重要性を再度強調した。

双方は、あらゆる形式のテロ行為及び過激主義を非難し、グローバルなレベルでのテロ行為と暴力的過激主義への対策に関する協力への共通のコミットメントを表明した。

双方はまた、マネーロンダリング、薬物・麻薬の密輸及び人身売買を含む越境組織犯罪対策のために協力を促進する重要性を強調した。

10. 医療協力

双方は、放射線治療及びUAE国民に対するケア及びセラピーを伴う医療施設の供与を含む先端医療分野における協力を更に進めていく意向を表明し、両国間の非感染性疾患に関する情報の共有に合意した。

11. 農業及び食料安全保障分野における協力

双方は、各々の食料安全保障の目標に向けた前進のために、対話を促進することの重要性を強調した。双方はまた、節水農法や新たな温室技術を含む革新的な農業技術において協

力することの重要性を再確認した。

12. 女性のエンパワーメント

双方は、日UAE女性キャリア交流、女性関連課題に関する対話の促進、及び日本が主催する国際女性会議（WAW!）等を通じて、女性のエンパワーメントにおいて協力を強化する意向を改めて表明した。

（了）